

超音波画像診断装置
HS-1600

製品仕様、付属品一覧

走査方式	リニアコンベックス電子走査	計測機能	距離、面積、周囲長、体積、股関節角度、ヒストグラム	
表示モード	Bモード、B/Bモード、B/Mモード、Mモード、B/Zモード バイプレーン(HLS-882MT装着時のみ)	キャラクター表示	妊婦週数、速度、LV計測 病院名(40文字)、患者名(30文字)、ID(26文字)、年齢 性別、DOB(誕生日)、日付、時刻、プローブ名、レンジ ゲイン、音響パワー、周波数、ダイナミックレンジ、ガンマ H-res、グレースケール、フォーカス情報	
レンジ	3.5MHz 5MHz以上	0~2.24cm(1cmステップ可変) 0~2.16cm(1cmステップ可変)	プローブコネクタ	x1
ビームフォーカス方式	フルデジタル方式 送信4段フォーカス 受信ダイナミックフォーカス		外形寸法	220mm(幅)x308mm(高さ)x69mm(厚み)
定格超音波周波数	2.8MHz~11.0MHz		質量	約3kg(プローブ除く)
表示モニター	8.4型カラー液晶 広視野角(水平:170° 垂直:170°)		電源	ACアダプタ接続時 100~240V 50/60Hz バッテリー 14.8V 5000mAh
画像表示	上下反転、左右反転 Bゲイン Mゲイン:36~100dB 1dBステップ ダイナミックレンジ:35~95dB 1dBステップ STC:5種類 音響パワー:20~100%(10%ステップ)		データ保存数	静止画像(JPEG) 内部100枚(最大)/外部USBメモリー 静止画(DICOM) 外部USBメモリー 動画(AVI) 外部USBメモリー
イメージ調整	γカーブ:5種類 H-res(画像処理):OFF, Detail1, Detail2, Mild, Detail3, Resolution, Penetration, Clarity, Boundary, Anatomy M走査速度:5ステップ		プローブ	コンベックスプローブ(5.0/3.5/2.8MHz 60R)HCS-736M リニアプローブ(11.0/8.5/6.0MHz 40mm)HLS-884M マイクロコンベックスプローブ(9.0/7.5/5.0MHz 12R)HCS-8712M マイクロコンベックスプローブ(経膈用) (9.0/7.5/5.0MHz 10R) HCS-7710MV T型プローブ(11.0/8.5/6.0MHz 15mm+25mm) HLS-882MT
シネメモリー	255フレーム		付属品	ショルダーベルト、ACアダプタ、充電器、バッテリーパック、超音波ゲル、取扱説明書

T型プローブ



HLS-882MT 11.0/8.5/6.0MHz

コンベックス	リニア	マイクロコンベックス
60R	40mm	12R
HCS-736M 5.0/3.5/2.8MHz	HLS-884M 11.0/8.5/6.0MHz	HCS-8712M 9.0/7.5/5.0MHz

安全に関するご注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。

■システム内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承下さい。 ■本誌の一部または全部を無断で複製複製(コピー)することは著作権法で禁じられています。

製造元 **本物電子株式会社。**
販売元 **フィンガルリンク株式会社**
〒111-0041
東京都台東区元浅草二丁目6番6号東京日産台東ビル5F
TEL: 03-6802-7145(代表) FAX: 03-6802-7156
E-mail: info@finggal-link.com
Website: www.finggal-link.com
第一種医療機器製造販売業: 13B1X10181

超音波画像診断装置
HS-1600

携帯型で高画質な超音波画像診断装置
T型プローブで直交2断面の画像から
穿刺を正確にガイドできます

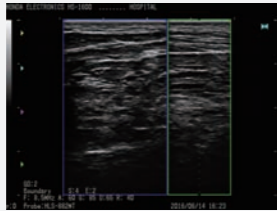


Soft:2 Edge:1
F: 8.5MHz A: 60 G: 86 D: 75 R: 50
Detail2 Soft:2 Edge:1
F: 8.5MHz A: 60 G: 86 D: 75 R: 50
2013/09/21 2:00

ポータブル型トップクラスの画質。独自の画像処理技術で用途に合わせた鮮明な画像を映し出します。

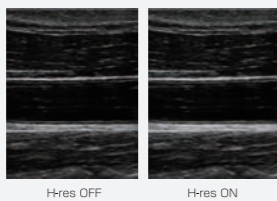
トップクラスの超音波画像

ポータブル型超音波画像診断装置でありながら、画像はトップクラス画質。高精細な超音波診断画像では、診断部位の状況を細部までくっきりと映し出すことができます。



独自の画像処理技術「H-res」®

先進の画像処理技術「H-res」を搭載。観察の目的や部位に合わせて、10の設定から最適なモードを選ぶことができます。



- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● Penetration 深部などの深部の描写に適したモード ● Resolution 体表部の細かい描写を最適化するモード ● Boundary 骨、筋肉などの組織の境目を強調したモード ● Clarity 血管内のエコー信号を拡大したモード ● Mild 画像処理効果を弱めたモード | <ul style="list-style-type: none"> ● Detail 1 深部の描写が得意なモード ● Detail 2 浅部の繊細な描写に合わせたモード ● Detail 3 骨の縁に強調したモード ● Anatomy 血管、神経の観察に適したモード ● OFF 画像処理のないダイレクトなモード |
|---|--|



小型ボディで持ち運びが容易

重さ3kg(プローブを除く)の軽量コンパクトボディは、持ち運びを容易にし、検診時に使用者の負担を少なくします。

シンプル操作

操作ボタンを最小限にまとめ、初心者でも使いやすいユーザーインターフェイス。また左右どちらの手でも操作できるようボタン配置がされています。

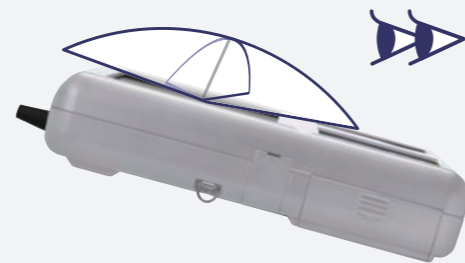


バッテリー、AC電源両方で使用可能

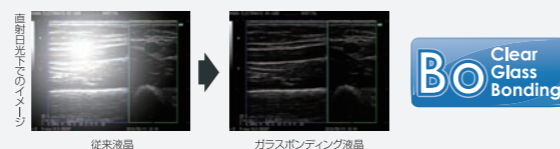
高性能リチウムイオンバッテリーを採用しているため、電源のない場所でも約3時間使用できます。バッテリー残量お知らせ機能搭載。オペ室や病棟など電源を気にせずにお使いいただけます。

上下左右170°の広視野

採用された高視野角液晶は、上下左右ともに170°の視野角を持っています。そのため、限られた検査スペースで自由な角度で診断が可能です。



使用場所を選ばない高機能液晶採用

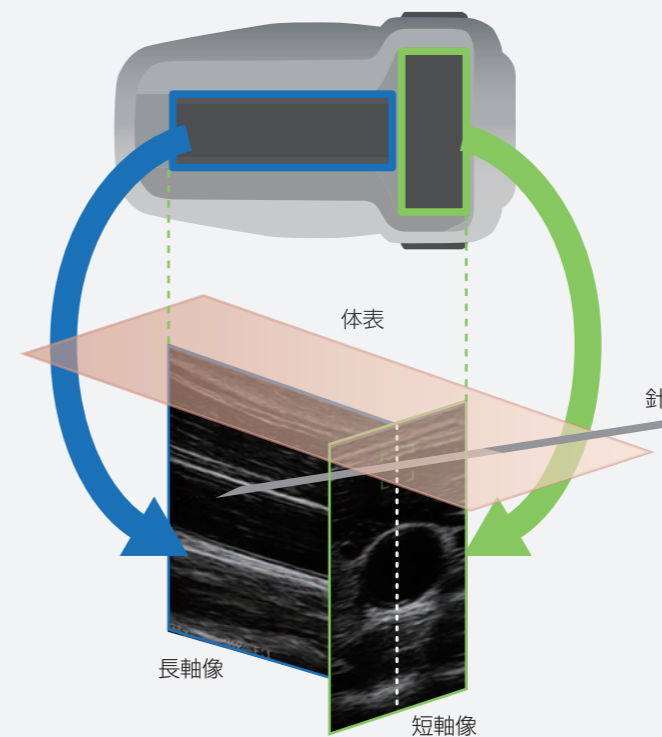


ガラスボンディング加工を施した高輝度液晶を採用しているため視認性が高く、屋外の直射日光下でも診断画像をはっきりと映し出します。また、急激な温度、湿度変化でも画面が曇りません。

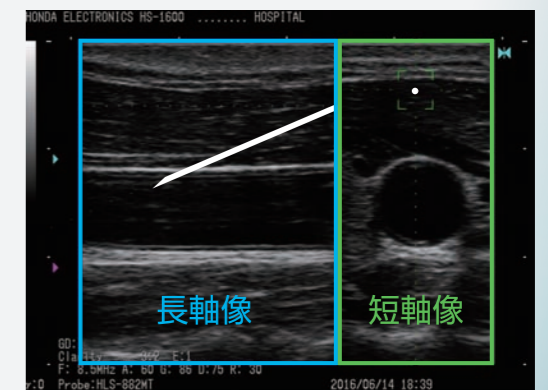
穿刺時の医療事故を防ぐ、超音波ガイド下の施術サポート。T型プローブを用いた、安全・確実な穿刺手法です。

T型プローブ(HLS-882MT)

神経ブロック注射、カテーテル注射など、穿刺における医療事故を防ぐため、超音波ガイド下の施術が推奨されています。こうした背景から、超音波ガイド下で安全、確実、簡便に穿刺できる手法が望まれています。T型プローブを用いることで、従来の超音波画像を使った短軸交差法や、長軸交差法のみでの穿刺に比べ、よりわかりやすく、穿刺対象を直交2断面で同時に観察することができます。

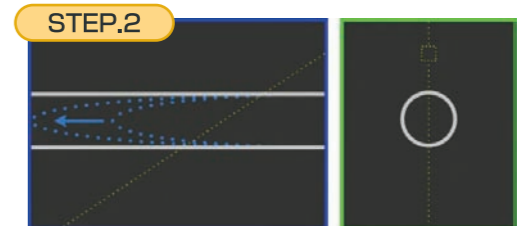
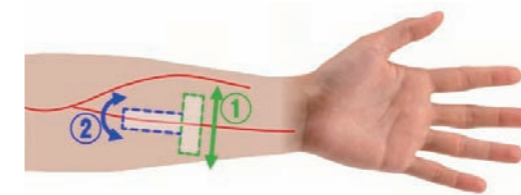


2断面画像をリアルタイムに表示

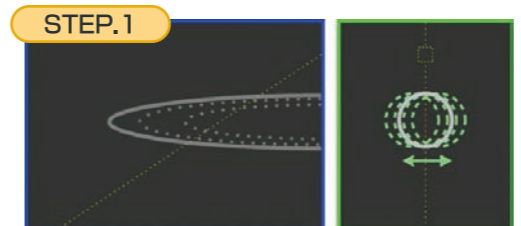


超音波画像を確認しながらの針の挿入(イメージ図)

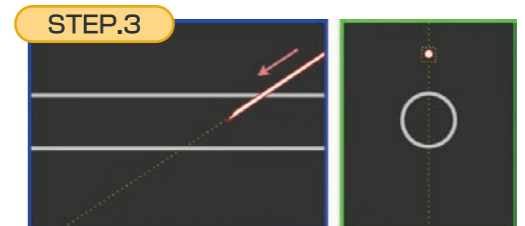
T型プローブの穿刺手順



長軸の位置を調整します。



短軸の位置を調整します。



ガイドに沿って針を挿入します。